

令和6年度

「言葉による見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する中学校国語講座 実施要項

1 目的

「言葉による見方・考え方」を働かせることと、深い学びを実現する国語科授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。

2 期日 令和6年8月5日（月）

3 会場 福島県教育センター（福島市瀬上町字五月田16）

4 日程・内容

時 間	内 容
9:30～9:50	受付・諸連絡 ※受付場所 第3棟 2階第2パソコン研修室
9:50～10:00	開 会 第2パソコン研修室
10:00～11:00	講 義 「『言葉による見方・考え方』を働かせる国語科授業」Ⅱ ・「言葉による見方・考え方」とは
11:10～15:45 (12:00～13:00) 昼 食	協議・演習 「『言葉による見方・考え方』を働かせる授業づくり」Ⅱ ・「言葉による見方・考え方」を働かせる視点からの授業改善 ・「言葉による見方・考え方」を働かせる授業構想
15:45～16:00	閉 会

※Ⅰ、Ⅱ等は、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】（改訂版）」で、該当する領域を示しています。

5 準備物等

(1) 書籍及び資料等

- 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編」 平成29年7月 文部科学省
 - 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【中学校 国語】」
令和2年3月 国立教育政策研究所教育課程研究センター
- ※上記の2つにおいては、端末等にダウンロードしたデータで持参してもよい。

- 担当学年教科書

(2) 事前課題

- 「『言葉による見方・考え方』を働かせる授業づくり」で使用する文学的文章教材の教材研究
※以下の中から教材を一つ選定し、授業づくりができるよう各自の方法で教材研究を行う。
「少年の日の思い出」「走れメロス」「故郷」
※学習指導案等の事前提出の必要はない。
- 選択教材及び担当学年の報告
 - ア 様式、内容
 - ・電子メール本文に教材研究で選択した教材名及び授業を担当している学年を明記
 - イ 提出方法
 - ・7月16日（火）必着
 - ・Emailで下記「8 問い合わせ先(2)研修内容について」へ送付
※件名を「中国専門－課題」とし、本文には所属と氏名を入力する。

(3) その他

- 上履き
- 食費 400円（受付時に現金で納入）

- ・昼食は教育センター内の食堂を利用する。
- ・食物アレルギー等の諸事情や欠席等により昼食を不要とする場合
※教育センターWebサイトの「各種様式」内のフォーム「食事キャンセル」により手続きする。

【手続の期限】 食事のキャンセルを希望する研修講座期日の前週火曜日 16:00
(8月19日～23日の研修は前々週火曜日 16:00)

※手続期限を過ぎた場合は食費を納入する。

- ふくしま教育クラウドサービスユーザーアカウント情報
 - ・ユーザーアカウント (FCS メールアドレス) 及びパスワード情報

6 留意事項

- (1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。
- (2) 橋梁工事に伴い、来所経路や駐車位置が令和3年度までと異なります。教育センターWebサイトの「駐車場案内図」で来所経路や駐車位置について事前に確認してください。なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。
- (3) 所外から持参した端末は、教育センターのWi-Fiに接続できないので御注意ください。

7 研修講座受講後のアンケートについて

受講3か月後以降に、教育センターWebサイトの「各種様式」内のフォーム「研修講座受講後のアンケート」より研修の成果とその活用について回答してください。

8 問い合わせ先

- (1) 欠席等について (市町村立学校は、市町村教育委員会・教育事務所経由)
福島県教育センター 総合企画チーム
TEL 024-553-3193
Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp
- (2) 研修内容について
福島県教育センター 教員研修チーム 国語科担当
TEL 024-572-4183
Email kyoin-kenshu-gr@fcs.ed.jp